

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	尼崎児童デイサービスステップ		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なイベントを開催・参加し、家庭では参加しにくい様々な体験ができる。	初夏(5月)に田植え体験、秋(10月)には稲刈り体験、自分達で刈った稲わらを使い冬(12月)にはお正月用のしめ縄づくりを行い、季節の巡りを感じられる機会を設けている。 2～3年毎に須磨海岸で漁師さん協力のもと地引網体験を開催、毎年1月には餅つきを行っている。	随時、職員間で遊びに行く場所や体験についての案を募集・検討している。 保護者面談でも保護者の方にも興味があるが連れていけない、などの要望を広く募集し、安全を確保しながらできることを柔軟に模索している。
2	たくさんの経験や体験をすることで自己肯定感を上げ、個々を大切に療育を行い子ども達が安心して心地よく過ごせる環境・設備を備えている。	子どもにわかりやすいように物を配置している。 日々の活動に子ども達のやってみたいこと、興味のあることを取り入れ、楽しく通えるよう温かみのある療育に取り組んでいる。	職員は1日に1回はその日利用している全ての子どもに話しかけることにしており、引き続き、一人ひとりの顔が見える療育に取り組んでいく。
3	定期的に行われる面談や送迎時、連絡帳等に子どもの状況などを伝えあうことにより、保護者との連携を深めている。 職員間で連携し、子どもの特性に適した支援を行っている。	面談は年に2回行われており、保護者の意思や子どもの意向をしっかりと踏まえた計画を作成している。 職員間では毎日の支援の記録、当日の打ち合わせを行い、気づいた点などはすぐに共有している。定期的に行われるミーティングでは支援に関わる職員が意見を出し合い、共通理解のもと支援計画を作成している。	個別支援については保護者の方々から高い評価をいただいております。引き続き全職員で子ども一人ひとりのできることを増やす取り組みを行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職の職員が少ない。	保育士・介護福祉士は在籍しているが、リハビリ職(作業療法士・言語聴覚士等)や公認心理士等は在籍していない。 該当職種には待遇及び安定性のある大手で就業するケースが多い。	採用を広く行うとともに、現在就業している児童指導員についても事業所内研修の実施、事業所外研修の推薦を積極的に行い、スキルアップに対する支援を通して職員全体の知識や対応力の増進をはかっていく。
2	関係機関との連携が少ない。	学校との連携(情報共有)は出来ているが、就学前に利用していた保育所や児童発達支援事業所との間の連携はない。	卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、これまでの支援内容や情報を提供すること。
3	地域の方々と触れ合う機会がない。	事業所の近隣には飲食店が多いこと、市街地にあることから、地域の方々との交流ができる場所が思い浮かびにくい。	長期休みなどを利用してかかわりを持てる機会を模索していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 尼崎児童デイサービス ステップ

公表日 2025年2月19日

利用児童数 25

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88%			12%		今後も継続し質の向上に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	66%			34%	どんな職員さんがおられるのか自己紹介の書面などあればいいなと思う。	今後検討していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%			6%	物の置き場所が決まっているようで分かりやすいかと思います。	引き続き、子どもたちにわかりやすく自分たち行動ができるような工夫を考えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					今後も継続し質の向上に努めます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	78%	22%			肩などにあざを作って帰ってくるものがあるので強くかまれたのかなと感じる。	こちらの把握が出来ていることは必ず保護者の方に連絡するようにはしておりますが今後しっかりと見ていこう心掛けていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	88%			12%	そもそも公表しているかどうか分からない。LINEを利用して配信すればよいのではないかな？	今後検討していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					今後も継続し質の向上に努めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%			6%		今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	6%				今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%			6%		今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	39%		17%	44%	同じ事業所で交流があり活動が多いようで楽しそうです。	今後検討していきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					契約時に説明をしておりますが、わからないこと等はその都度対応していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	85%	5%	5%	5%	直接説明というのはなかったように思う。計画書を読んでサインする形？	色々な要望にて対応しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50%	23%		27%	あればうれしいと思う。	今後検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90%	5%	5%		写真や動画などLINEで共有できたらありがたい。	現在、動画については撮影許可がない利用者さんがいるため控えております。写真については今後検討していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				年に数回面談がありアドバイスいただけます。	ご相談等は随時対応しております。こちらから連絡をし相談をさせていただく場合もございます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					職員間で連携をとり、今後も取り組んでまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	39%	10%	5%	46%		今後検討していきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83%			17%		ご相談等は随時対応しております。こちらから連絡をし相談をさせていただく場合もございます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	5%	5%	スタッフさんによってバラバラでたくさん教えてくださる方もいれば、挨拶だけの方もいらっしゃるの送っていただいた時にもう少しどんな様子だったか教えてほしいなと思う…	活動中に特に問題がない場合には連絡帳に書いてある内容となりますが、保護者様にわかりやすいように伝えていこう心掛けていきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90%		5%		今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%			10%		今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	62%	11%		27%	・周知説明はされていないのかなと。	今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	73%		5%	22%		年2回行っています。保護者様に周知していくよう心掛けていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%			10%		今後保護者様にもわかりやすいように発信していくよう心掛けていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%	5%		10%	事故等がないが、連絡はしてくれると思う。	事故や怪我等が発生した場合には必ず連絡をいたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%			5%		安心感をもって来所していただけたら幸いです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%	5%		5%		楽しみにして来所をしていただけたら幸いです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%			5%		満足をして来所していただけたら幸いです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		尼崎児童デイサービス ステップ		公表日		2025年 2月 19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		部屋をできるだけ広く使用できるように物の配置を考えなおかつ安全に活動ができるように危ないと思われる箇所には安全ガードを設置し工夫をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用する人数に応じ適切に配置している。	職員の配置数は適切であるが、状況によっては必要以上の配置が必要と考えます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚化にし児童にわかりやすい配置にしている。室内室外バリアフリー化になっているので、問題ない。	利用児童に応じその都度工夫が必要となった場合には利用しやすい対応をしていくようにいたします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔面には十分に配慮している。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の部屋が必要になったときには使用してもらっている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的に職員会議やミーティングを行い参画している。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		出来る限り保護者の意向を聞き入れ業務改善につなげている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的なミーティングの実施 常時意見交換ができる時間を作っている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者による外部評価を行い業務改善につなげる必要があります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に研修を行い資質向上を図っている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		作成は毎回行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		面談や本人との会話や、相談支援員からの情報を元にアセスメントを行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		面談の際の保護者との話し合いの内容やモニタリングの結果を元に職員会議を行い計画書を作成している。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		情報共有をしている。職員が常に計画書を確認できるようにしているため計画に沿った支援を行うようにしている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		今後必要に応じ対応していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			家族支援、本人支援については作成が出来ているが地域支援、移行支援については不十分だったため次回の更新時より具体的に記入していく考えであります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		当日の利用児童に応じて可能なプログラムを立案行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		当日の利用児童に応じて可能なプログラムを立案行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。	

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせ計画を作成し支援を行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には必ず職員間で打ち合わせをしている。	必要以上に確認し支援を行うよう心掛けていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		終了時間が異なるため、支援終了後に打ち合わせができないときがあるが、次の日の支援前には必ず打ち合わせをしている。 当日の連絡に関してはLINEのグループで共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、記録は行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い見直している。	今後も継続し質の向上に努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		十分ではないが基本的には行っている。	地域交流の機会の提供が不十分であるため今後対応していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		毎日のおやつは自分で選んで食べてもらっている。活動内容も時には児童達と話し合い決める。	今後も継続し質の向上に努めます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、児童指導員、保護者が参画しサービス担当者会議を行っている。 必要に応じ学校の先生にも参画していただいている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関との連携は整っている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		基本的には保護者からの連絡となるが、学校等からの連絡もあり、随時対応している。	今後も継続し質の向上に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	対応していただける学校等は情報共有をしている。	幼稚園・保育所等との情報共有ができていないのでこちらからも積極的に連絡を取り情報共有に努めるよう心掛けていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現在、対象の児童はいませんが必要となった場合には対応いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後必要に応じ対応していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後必要に応じ対応していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		今後必要に応じ対応していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の連絡帳でのやり取り、必要に応じた面談、コミュニケーションアプリ等を使用した相談の受付や情報共有をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談等があった場合には個人面談や訪問、電話対応で行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしている。わからないこと等はその都度質問に応じている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎日の連絡帳でのやり取り、必要に応じた面談、コミュニケーションアプリ等を使用した相談の受付や情報共有をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		家庭の事情により方法は異なるが、同意を得ている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談等があった場合には個人面談や訪問、電話対応で行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族参加型のイベントを実施しているのでその際に交流を持ってもらっている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等がある場合には迅速な対応を心掛けている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回の会報とイベント事に号外の会報を発行し活動の状況を発信している。	今後も継続し質の向上に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報のある書類等は鍵付きのロッカーに保管しており取り扱いには十分に気を付けている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個人に合わせ配慮をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後必要に応じ対応していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しており、各家庭に配っている。訓練も年2～3回実施している。	今後も継続し質の向上に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、必要な訓練を行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬が必要な児童は十分に保護者に確認して行っている。てんかん発作のある児童に対しても十分に保護者と連携を取り情報共有をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		十分に保護者と連携を取り情報共有をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、支援を行っている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画については十分な周知はできていない。今後周知していくよう対応していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を活用しミーティング等でのスタッフ間での共有をしている。	今後も継続し質の向上に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部虐待防止研修への参加や社内での虐待防止研修の実施を行い、対応している。	今後も継続し質の向上に努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現在対象の児童はいませんが、必要となった場合には十分に保護者と話し合いが必要と考えます。	